

奈良県指定文化財(彫刻・建造物)の「災害対策等現況調査」調査票

調査日	2017 年	9 月	22 日	記入者	岡村幸子
調査者名	小倉	久門	鈴木	橋詰	岡村

調査対象先	来迎寺(浄土宗)						
所在地	奈良市来迎寺町126			電話番号			
代表者 調査対応者	檀家総代 小西正信さん (住職は、奈良市の慈眼寺の北条幹二住職が兼任)						
対象文化財	彫刻	県指定:	1 件	国宝:	件	重文:	件
	建造物	県指定:	1 件 1 棟	国宝:	件 棟	重文:	件 棟

地震対策

①対策の現況	<input checked="" type="radio"/> A:実施済 <input type="radio"/> B:一部実施済 <input type="radio"/> C:未実施	
② ①の回答が A、Bの場合	対策の経緯、 内容	平成22年の県指定後、25、26年に解体して基礎から修復。県と市、及び近鉄系財団の補助を得た。柱や床は傷んだ部分を取り替えた。屋根は軽くするために瓦を用いず銅版葺にした。
	今後の予定	特になし。
	要望	解体修復した本堂は、「耐震構造」という保証はもらっていない。県指定の彫刻は現在、修復された本堂ではなく、昭和38年頃建設の阿弥陀堂に安置されている。
③ ①の回答が Cの場合	実施して いない理由	<input type="checkbox"/> 対策の必要がない <input type="checkbox"/> 資金が足りない <input type="checkbox"/> その他()
	今後の予定	
	要望	

防火対策

①対策の現況	<input type="radio"/> A:実施済 <input checked="" type="radio"/> B:一部実施済 <input type="radio"/> C:未実施	
② ①の回答が A、Bの場合	対策の経緯、 内容	本堂と阿弥陀堂に火災報知機を設置し、異常があればサイレンが鳴って住民に知らせる。「家の中にいたら聞こえないかもしれない」と言っておられた。避雷針は設置していない。(周囲の木々のほうが高い)
	今後の予定	特になし。
	要望	特になし。
③ ①の回答が Cの場合	実施して いない理由	<input type="checkbox"/> 対策の必要がない <input type="checkbox"/> 資金が足りない <input type="checkbox"/> その他()
	今後の予定	
	要望	

奈良県指定文化財(彫刻・建造物)の「災害対策等現況調査」調査票

調査対象先	来迎寺(浄土宗)
-------	----------

獣害・白アリ等の対策		
① 獣害等被害	<input checked="" type="radio"/> A: 経験あり	<input type="radio"/> B: 経験なし
② ①の回答が Aの場合	どのような被害か	修理前はシロアリの被害があったが、現在は問題ない。また、床下に動物が入り込まないように、通気性良く床下を囲っている。
③ 今後	今後の予定、要望	特になし。

江戸時代創建で県指定の本堂。右奥が阿弥陀堂

傷んだ柱の下部を、新しい柱で継いでいる



床下の囲い(下部は犬走)

火災報知機管理盤



平安時代の作とされる県指定の木造阿弥陀如来坐像

【調査票記入者(岡村幸子)の感想】



3、40年間無住寺で、現在12の檀家でお寺を守っておられる。高齢化に伴い、将来も守り続けるのは大変なことであると思った。